



例会日 毎週水曜日 12:30～ 例会場 ホテルシーズン日南  
 住所 日南市園田 3-11-1 TEL 0987-22-5151 FAX0987-22-9588 会長 竹井崇利

母子の健康月間

第 3200 回例会	No.40	2019. 04. 24	雨
点鐘・国歌・ロータリーソング	12 時 30 分	「我ら日本のロータリアン」	
四 つ の テ ス ト	古澤昌子 君		
ゲ ス ト	日南ユネスコ協会 会長 坂口義弘氏 同副会長 長松利明氏 同幹事 大浦 宏氏		
例 会 行 事	翡翠賞授賞式 (日南ユネスコ協会)		

会長時間

東京パラリンピック種目

アーチェリー 陸上競技・バトミントン・ボッチャ・カヌー・自転車競技・馬術・5 人制サッカー・ゴールボール・柔道・パワーリフティング・ボート・射撃・シッティングバレーボール・水泳・卓球・テコンドー・トライアスロン・車いすバスケット・車いすフェンシング・車いすラグビー・車いすテニス

●ボッチャ

障害者、とりわけ脳性麻痺などにより、運動能力に障害がある競技者に考案された障害者スポーツである。赤または青の革製のボールを投げ、白い的球にどれだけ近づけられるかを競う競技です。競技は個人、ペアないし 3 人 1 組のチームで行い、男女の区別はない。ルールがカーリングと似ているところから「地上のカーリング」とも呼ばれている。1988 年のソウル大会より正式競技として採用されている。

●ゴールボール

目隠しをしながら鈴の入ったボールを転がし、ゴールに入れることで得点する視覚障害者の球技である。1980 年のアーネム大会より正式種目となっている。2004 年のアテネ大会では女子チームが銅メダルを獲得、2012 年のロンドン大会では女子チームが金メダルを獲得した。

●シッティングバレーボール

座った姿勢で行うバレーボール。健常者も足に障害を持った人もともに楽しむことができる。1980 年のアーネム大会で男子の部が正式種目になった。2004 年のアテネ大会で女子の部が正式種目になった。

パラリンピックの歴史

1948 年のロンドンオリンピック開会式と同日に、イギリスのストーク・マンデビル病院で行われた競技大会である。戦争で負傷した兵士たちのリハビリテーションとして「手術よりスポーツを」の理念で始められたものである。1960 年のローマ大会が第 1 回パラリンピックと呼ばれている。大会の象徴であるマークは、人間の最も大切な 3 つの要素「心 (スピリット)・肉体 (ボディ)・魂 (マインド)」を赤・青・緑の三色で表している。1960 年の第 1 回大会の参加国は 23 か国、400 人の参加者でしたが、2016 年大会では参加国 159 か国、参加者 4342 人でした。

障害者のスポーツを見ていると、人間の可能性は無敵大であることを改めて感じる。障害を持ちながら前向きに生きている選手を見ると同じ障害者へのエールだけでなく、健常者も勇気と元気がわいてきます。東京パラリンピックを通して、地域において障害者スポーツがさらに普及促進されることを期待いたします。

日南市では、「つわぶき車いすマラソン」が昨年で第 10 回を数えました。これからも 20 回、30 回と盛んになることも期待したいと思えます。

5 月 9 日より五輪チケットの申し込み受け付けです。来年の東京パラリンピック行ってみたいものです。

## 幹事報告

- 1) 3クラブ合同例会の件 5/15 (水) 18:30~ホテルシーズン
- 2) 臨時理事会報告 井野畑善順幹事確定の件
- 3) えびのRC50周年参加報告の件
- 4) 地区研修・協議会参加要請の件

## スマイル

- 古澤昌子君 来月より、令和初の仕込みに入ります。令和の御代にふさわしい焼酎を目指しスマイルします。出席義務規定の免除有難うございます。
- 築瀬 敦君 鬼束副SAAに言われるまで、バッジを忘れていたことすら気づきませんでした。
- 竹井崇利君 4/21 えびのRC創立50周年式典に所用で欠席しました、申し訳ありませんでした。落丸G補佐、井野畑幹事、ご出席いただき有難うございました。

## 例会行事

### 翡翠賞授賞式 (日南ユネスコ協会)

#### 日南ユネスコ協会 会長 坂口義弘氏



本日は、皆様方より翡翠賞の表彰、大変名誉のことであり、嬉しく、ユネスコ会員を代表し謹んでお受けをいたしました。又、今回こうして発表の場を与えていただきありがとうございます。

ユネスコ協会は、九州に15組織。宮崎県内には、延岡、高鍋、都城そして日南の4組織が存在しています。

日南のユネスコ協会活動の歴史は古く、昭和40年代から活動が開始されたそうです再結成した日南ユネスコ協会、現在の会は、1996年10月(平成8年)、市内在住の30名を超える会員の皆さんに加わってもらい立ち上げ、24年近くの活動になります。

発会は、渡邊眞一郎さんが中心となり声かけもあり、市内の公務員、郵便局長、農業者、会社役員、会社員、お坊さん、飲食店経営者、司法書士、税理士、印刷会社の専務、商工会議所等の団体役員、日南市の中で考えられる職種の方に集まってもらったのではないかと思います。

日本ユネスコ協会へ正式加盟したのは、発足の翌年、1997年5月(平成9年)でした。

設立当初、日南ユネスコ協会の活動は、世界寺子屋運動の理念に沿う活動、使用済み切手の分別、書き損じはがきの回収、募金活動、世界遺産活動に伴うサンメッセ日南の施設内で、世界遺産のパネル展示、サンメッセ、祭行事への参加等の事業を行ってきていました。

発足数年後から日南ユネスコ協会の主な活動は、徐々に変化し、サンメッセ日南との交流事業、毎年10月に行われる飴肥城下祭り時の世界遺産パネルの展示、日南市とオーストラリア、アルバニー市の中高生の国際交流、相互訪問事業などに移っていきました。

2000年(平成12年)から、アルバニー市中高生との相互訪問ホームステイ事業を開始、実績を積み重ね、この間、両国で190名を超える生徒が相互訪問事業に参加、交流したことになります。家族を含めればその経験者数は、3倍、4倍に膨れるとおもいます。

ホームステイ事業は、息の長い活動です。現ユネスコ会員も高齢化してきています。日南ユネスコ協会の実務は、事務局を担う事務局長にお任せせねばなら部分が大きですが、できる限り会員同士の連帯も深め、これからも、市民とともに活動を継続して進めていきたいと思っています。

## 出席率報告

	会員数	出席免除	出席定数	HC出席	MU	欠席	出席	出席率
前々週 4/10	34	2	32	25	7	0	32	100%
今 週	35	2	33	24	8	1	32	96.96%
出席免除	村上、渡邊							
先々週MU	石灘、榎木田、菊池、桑村、清水、豊田、古澤							
先取MU	阿部、榎木田、菊池、桑村、清水、豊田、野崎、松尾							
欠 席	落丸							